



3年学年だより

発行日：令和4年10月31日（月）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 6

「経営」について考えよう

校長代理 冨樫 哲一

10月3日（月）から10月14日（金）までの2週間、本校で秋の教育実習が行われ、3名が本校で実習を行いました。本校では、教育実習については本校の卒業生のみを受け入れているため、南高・南高附属中の先輩が久しぶりに母校に帰ってきて、後輩に授業等を行うということになります。

長く南高附属中に勤務している先生の中には、自分の教え子だった、もっというと自分が担任をしていた生徒が実習生として南高附属中に帰ってきたケースもあったようです。先生方としては、少し気恥ずかしい感じもするそうですが、“元教え子”の成長した姿を頼もしく感じたり、自分と同じ横浜市の教員を目指して教育実習に来ていることに喜びを感じたりしているとのことでした。

今現在、南高校には皆さんの先輩（第1期生）が実際に教員として本校に勤務しています。その先生も昨年の春に本校で教育実習をしていました。中学生の皆さんの中からも、高校卒業後に本校に教育実習に来て、さらに、いつの日か横浜市の教員として一緒に働いていく人がでてきてもらえたら、本当にうれしいことです。

さて、教育実習生への講義として私は、「学校経営」についての話を依頼されることが多いです。今回の教育実習でも、実習初日の一番最初の時間が私の学校経営の話となりました。

「よい授業をしたい」「生徒に寄り添った教育相談をしたい」「担任としてクラスをまとめていきたい」といった夢をもちながら教員を目指す実習生の皆さんに、いきなり学校経営の話をして、自分のこととしてとらえてもらうのは難しいと思っています。そこで私は、学校経営の中でも「経営」の考え方に重点をおきながら説明をすることにしています。それは、「経営」はどんな人にも必要な考え方だからです。

具体的には、「経営」について、「時間やお金や体力のような資源は無限にあるわけではなく、必ず限りがある。どのようにそれらの資源を配分していけばよいかを考えていくのが経営であるが、その資源配分が適正かどうかを判断するためには目標設定が重要になる」ということを毎回伝えています。

経営する単位は人によってそれぞれです。私が経営するのは「学校」という単位ですが、担任の先生であれば「学級」が経営の単位になります。教育実習生も学級担任になればすぐに学級経営をしていかなければなりません。学級経営をするためには、まずは学級目標を設定して、その目標を達成するために、先ほどお話した、時間や人などの資源を適正に配分していかなければなりません。

もっといえ、私たち個人について考えてみると、自分という人間を自分で「経営」しているということができるのではないのでしょうか。やっぱり、お金や時間や体力などの限られた資源をどう配分していくかが幸せな人生を送るためには重要となります。ここまで読んで、勘のよい皆さんは気付いたかもしれません。そうです。先ほども述べたように、やっぱり自分を「経営」するためにもまず何よりも必要なのは「目標」なのです。

自分が幸せだと感じる人生を送るための「目標」はそれぞれ違うことでしょう。ほかの人の「目標」に合わせる必要は全くありません。もしかしたら中学生の皆さんは自分の人生の「目標」はまだ設定していないのかもしれませんが、ぼんやりとでもいいので早めに「目標」を定めることをおすすめします。

「もし目標が途中で変わってしまったらどうしよう」と心配する人も皆さんの中にはいるかもしれません。しかし、環境や社会状況の変化などで「目標」が変わってしまうことは企業などではそれほど珍しいことではありません（もちろん学校も含まれます）。まずは、進むべき方向である「目標」を定める。そしてその「目標」に向けて進んでいく中で、現状や周囲の状況にあわせて「目標」を再度吟味し、必要に応じて変化させるとともに、資源の配分の仕方を考え直す。こうした営みは「経営」の中でも重要な要素なのだと考えています。

改めて皆さんに聞きたいと思います。皆さんが幸せ人生を送るための目標は何ですか。その大きな目標を実現するために、南高附属中にある今、皆さんが持っている時間などの資源をどうやって使っていきますか。

卒業研究 中間発表会

10月24日6校時、29日1,2校時の2日間で、卒業研究の中間発表会が行われました。夏休み中や夏休み明けに行った、実地調査やインタビュー、講座への参加、アンケートなど様々な研究の成果をまとめ、同じ領域【国際・健康福祉・テクノロジー・環境・人間の5つの領域】のメンバーに発表しました。Chromebook を使ってスライドを作成し、研究のことについて知らない人にも、わかりやすく伝えるようにくふうして発表していました。中間発表会でもらったたくさんコメントを、これからの研究活動、さらには論文執筆につなげていきます。その前には、11月の高校の先生方とのアドバイザー面接があります。中間発表会のように、簡潔にかつわかりやすく伝えられるといいですね。



京都研修旅行に向けて準備スタート!!

12月8日～10日の2泊3日で行う、京都研修旅行に向けての準備が始まりました。まずは、3日目のクラス別バスコースについて、実行委員を中心に案を出し、クラスで行きたいところを検討しました。検討の結果以下の場所を回るコース(案)となりました。

- | | | | |
|------------|----------|----------------|------------|
| 1組:①龍安寺 | ⇒②貴船神社 | ⇒③下鴨神社 | ⇒④昼食【かがり火】 |
| 2組:①清水寺 | ⇒②東寺 | ⇒③昼食【エルシエント京都】 | |
| 3組:①平等院鳳凰堂 | ⇒②伏見稻荷大社 | ⇒③昼食【エルシエント京都】 | |
| 4組:①伏見稻荷大社 | ⇒②清水寺 | ⇒③京都大学 | ⇒④昼食【かがり火】 |

また、2日目の班別自主研修に向けて、京都にはどんな寺社仏閣があるのか、またどんな見どころがあるのか、事前学習で1枚のポスター制作をしました。

神無月の福袋

EGG 卒業研究は中間発表会、全体の折り返し地点に来ました。先日は高校の先生方による進路説明会がありました。卒業アルバムの準備もスタートしました。忙しいですね…。中学校生活のまとめと高校進学準備が並行しているこの時期、深呼吸して、遠くを見る目と足元を見る目がほしいなあ。

科学部3名の作品が表彰されました!!

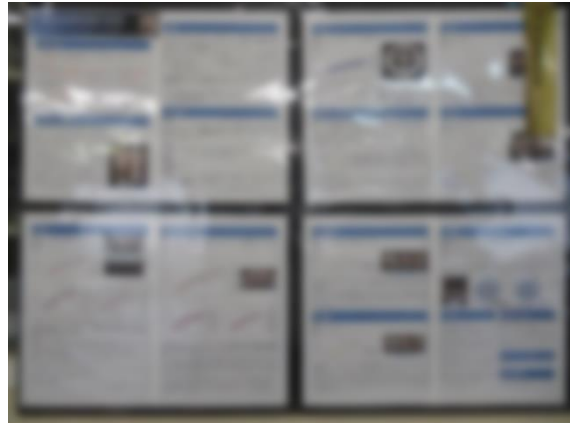
10月13日に、第66回日本学生科学賞神奈川県作品展が開催され、本校科学部3名の作品が優秀な成績を収めました。作品は、3階の地学実験室前の廊下に掲示されていますので、ご来校の際は、ぜひご覧ください。以下受賞者のコメントです。

【読売新聞社賞】2組 ■さん
作品名：垂直軸扇風機の研究

僕は、垂直軸扇風機という側面360°に風を起こせる扇風機について研究しました。ところで、この扇風機はなにから着想を得たと思いますか？正解は、ノートです。ノートをめくったときの風から紙を放射上に配置すれば扇風機になるんじゃないかと思いました。

このように、身近なものから発展させることで研究をすることもできるので EGG のときに参考にしてもいいかもしれません。

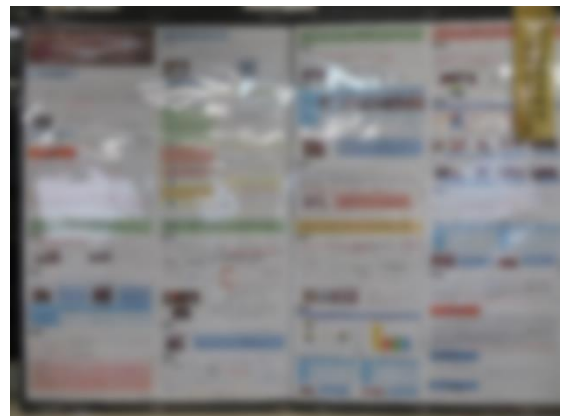
研究を支えてくれた家族や先生方、ありがとうございました。



【県科学教育振興委員会賞】2組 ああさん
作品名：砂かけ行動と砂山のナゾに迫る!!

～小さなアリの大きなヒミツ 砂かけ行動と砂山の効果を追って～

幼い頃から好きだった昆虫の研究で賞を取れてとても嬉しく思います。ここまで私を支えて下さった方々と、この経験を作ってくれたアリたちには感謝がありません。今後も、アリに対する飽くなき探求心を忘れずに持ち続けていきたいと思っています。



【県科学教育振興委員会賞】1組 ■さん

作品名：CO2 添加と植物の生育～屋内土耕栽培で作る新たな農業システム～

僕は3年間この研究を行っていましたが、はじめはうまくいかず思うような結果を出せない時期が長く苦心していました。ですが、このような時でも科学部のみんなや先生方、保護者など、いつも助言をくれたり、支えてくれたりする人がいたおかげで、納得のいく研究にできたと思います。そして、今回お世話になった多くの方に、このような結果で恩返しできたことをとても嬉しく思っています。

